

令和5年度ヘルステクニカルトレーニング開催要項

—赤十字職員用—

1. 目的

日本赤十字社の病院 ERU は、これまでの日赤要員の数多くの ICRC 戦傷外科病院や多国籍による災害時のフィールドホスピタルでの経験を元に構築したものである。フィールドホスピタルを運営するためには、特に人員不足が想定される災害現場においては、職種や専門性を越えて必要な医療支援を行うことができる医療職の育成が重要である。

本研修は、災害時の主な外科系疾患とその治療・看護に必要な知識を深めると共に、実際の病院 ERU 資機材を用いて輸血や検査、レントゲン撮影、その他様々な医療機器の運用に必要な知識と技術を、実技を通して習得することを目的とする。

2. 研修目標

実際の病院 ERU 資機材を用いて、現場で求められる以下の知識と技術を習得すること。

- (1) 輸血：機器類の取り扱いや安全に輸血をするために必要な知識と技術を習得し、臨床検査技師がいない場合でも一連の手技ができる。
- (2) 放射線：機器類の取り扱いやレントゲン撮影に必要な知識、技術、安全管理を習得し、診療放射線技師がいない場合でも単純撮影やその補助ができる。
- (3) 医療機器：クリニックにはない、ホスピタル特有の医療機器の組み立て方、メンテナンス、使用方法に関する知識と技術を習得する。

3. 内容（概要）

- (1) 輸血の基本、機器類の取扱い、血液型判定、交差試験
- (2) レントゲン撮影、機器類の取扱い、単純撮影
- (3) その他医療機器の組み立て方、使用方法、メンテナンス、動作確認

4. 開催日時

令和5年10月28日（土）9：00～29日（日）17：00

5. 開催会場

大阪赤十字病院

6. 使用言語

日本語 ※資料は英語を含む

7. 対象者

以下の要件をすべて満たす者

- (1) 赤十字施設に勤務する医療職で、今後日赤 ERU への派遣が期待される職員（国際救援・開発協力要員に登録されていることが望ましい。）

(2) 臨床経験 3 年以上

*原則、参加者は 2 日間の全日程に参加が望ましいが、職種によっては 1 日のみの参加も可能であるため応相談。

8. 募集人数

最大 20 名 ※応募者多数の場合は書類選考いたします。

9. 研修スケジュール

別紙プログラム参照

10. 事前課題

実習に重点を置いているため、研修での講義は最小限とするプログラムになっています。従いまして、必ず提示された事前資料を読み、理解しておいてください。資料は事前にメールにて提示します。

11. 申込方法

所属施設の承諾を得たうえで、**令和 5 年 8 月 25 日 (金) までに**、以下の URL または QR コードから各自お申込みください。

URL : <https://forms.gle/Wd8r2k63CQ6YAk1p6>

QR コード :



12. その他

- (1) 参加の可否については、9 月上旬頃に所属施設担当者宛てに通知いたします。
- (2) 研修中の昼食は各自でご用意ください。会場周辺にコンビニエンスストア等はございます。
- (3) 実技演習がありますので、動きやすい服装でお越しください。
- (4) 宿泊は各自で手配をお願いします。
- (5) 新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行しましたが、研修中はマスクの着用、手指消毒の徹底などの感染対策にご協力をお願いします。なお、今後の感染状況によっては中止や研修内容の変更等の対応をさせていただく可能性があることをご了承ください。
- (6) 参加にかかる旅費等については、国際医療救援事業交付金の交付対象となりますので、追って申請・充当してください。なお、同交付金の旅費の取り扱いについては、平成 26 年 9 月 30 日付人事第 445 号「本社招集旅費の取扱いについて」が適用されます。

【問い合わせ先】

大阪赤十字病院 国際医療救援部 国際救援課

TEL: 06-6774-5030 (直通)

E-mail: imr@osaka-med.jrc.or.jp